

新人看護師におけるエゴグラムの変化とリアリティショックとの関連 ～入職4ヶ月後と1年後の縦断的調査から～(第一報)

中堅コース Hグループ 松山奈美 本田憲吾 浅田さより 林ちあき

はじめに

新人看護師は、仕事の特殊性によるストレス、技術や知識が未熟なことによる不安、職場や人間関係の不慣れなどによりリアリティショックに陥りやすいと報告がある。リアリティショックの原因の中には、性格や特性による精神要因も大きく影響していると考えられる。そこで、エゴグラムを活用し自我の変化とリアリティショックとの関連を調査したので報告する。

用語の定義

リアリティショック…専門教育を受け、看護の理想像が形成されるが、社会で働いた際に理想との間にギャップを感じることによって生じる現象や身体的、心理的、社会的ショック反応。

エゴグラム…自我状態を5尺度に分け分析しているもの。また、5尺度で一番高い尺度を優位型とする。

＜各自我状態の一般的特徴＞

CP	NP	A	FC	AC
責任感が強い、厳格である、批判的である、理想をかかげる、完全主義	思いやりがある、世話好き、やさしい、受容的である、同情しやすい	現実的、事実を重視、冷静沈着、効率的に行動する、客観性を重んじる	自由奔放、感情をストレートに表現する、明朗快活、創造的、活動的	人の評価を気にする、他者を優先する、遠慮がち、自己主張が少ない、良い子としてふるまう

I 研究目的

新人看護師のエゴグラムの変化とリアリティショックとの関連を明らかにする。

II 研究方法

1. 研究期間: H19年8月～H20年9月
2. 研究対象: 新人看護師 22名
3. 調査方法: 集団式の質問紙調査
就職4ヶ月後と1年後にエゴグラムとリアリティショックに関する質問紙調査。記入後、すぐに回収。調査内容は、①基本属性②エゴグラム…株式会社ピースマインドのエゴグラムテストを使用し、自我状態を5尺度に分類、また、優位型に分類した。③リアリティショック…Pines 作、稲岡修正のバーンアウトスケールを用いて測定し、スコアが2.9以下を「健全群」、3.0～3.9を「リアリティショック徴候群」、4.0以上を「リアリティショック群」と分類した。
4. 分析方法: エゴグラムとリアリティショックの程度との関連を単純集計を用いて比較検討した。
5. 倫理的配慮: 研究対象者に研究主旨、回答に対して個人が不利益を受けないことを文書・口頭で説明。エゴグラムの結果は、各個人へ返却した。

III 結果

回収率は100%であった。

1. エゴグラム: 4ヶ月後と1年後の平均得点の変化は、1年後 CP・FC・AC 上昇、NP・A は下降していた。

エゴグラムの優位型の変化は、4ヶ月後1位はNP優位型12名(54%)、2位AC優位型5名(23%)、3位FC優位型4名(18%)、4位、CP優位型1名(5%)。1年後は、3位まで順位・人数は変わらず、4位がA優位型1名(5%)であった。

2. リアリティショック: 4ヶ月後健全群5名、リアリティショック徴候群10名、リアリティショック群7名、1年後は健全群7名、リアリティショック徴候群12名、リアリティショック群3名であった。
3. エゴグラムとリアリティショックの関連: エゴグラム平均得点を、リアリティショック群と健全群で比較すると、リアリティショック群が4ヶ月後A・ACが高く、1年後A・FC・ACが高かった。4ヶ月後リアリティショック群7名のうち、2名は、1年後もリアリティショックに陥っており、エゴグラムは、AC優位型であった。

IV 考察

1. エゴグラム: 4ヶ月後と1年後の平均得点では、CP・FC・ACの上昇、NP・Aの下降があり、CP・AC上昇、NP・A下降は、先行研究と同様、新人看護師に共通する傾向であると推察される。FC上昇については、今年度新人看護師の特徴と考える。エゴグラム優位型の変化は、NP優位型が54%で、一般的特徴より思いやりがある・世話好きなどで、看護師に多いタイプといわれている。
2. リアリティショック: 4ヶ月後リアリティショック群は7名、1年後3名に減少しており、新人看護師における精神状態の変化が先行研究同様当院でもいえる。
3. エゴグラムとリアリティショックとの関連: リアリティショック群は健全群に比べ、エゴグラム平均得点は4ヶ月後A・ACが高く、1年後A・FC・ACが高かった。このことから、新人看護師に対して自分の思いを表現できる環境を作ることが重要と考える。4ヶ月後リアリティショック群7名のうち、2名は、1年後もリアリティショックに陥っており、AC優位型であった。AC優位型の示す自我状態は、感情抑制、他者の期待に沿う努力などであり、自立性の欠如、自己束縛として現れた場合、リアリティショックに陥りやすい傾向にあると考える。

V 結論

- 1) エゴグラムの4ヶ月後と1年後の平均得点は、CP・FC・ACが上昇、NP・Aが下降する。これは、H19年度の新人看護師の特徴と思われる。
- 2) エゴグラム優位型を、健全群とリアリティショック群で比較すると、AC優位型は、リアリティショックに陥りやすい傾向にある。